

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
切除不能肝細胞癌 Durvalumab+Tremelimumab併用療法		28日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 生理食塩水 50mL(プライミング用) ② 生理食塩水 250mL + イジユド 300mg 体重30kg以下の場合、4mg/kgとする。 最終濃度を0.1～10mg/mLとする。 投与時0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用。 ③ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用) ④ 生理食塩水 250mL + イミフィンジ 1500mg 体重30kg以下の場合、20mg/kgとする。 最終濃度を1～15mg/mLとする。 調製後13時間以内に投与終了。 投与時0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用。 ⑤ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用)		
コメント	BW30kg以下の場合、トレメリムabは4mg/kg、デュルバルマブは20mg/kg。 1コース施行後、デュルバルマブ単独療法を行う。		

プロトコールに関する解説
本療法は切除不能の進行肝細胞癌症例の1次治療として、世界で行われた無作為化オープンラベル多施設フェーズIII試験(HIMALAYA試験)の結果に基づいて、標準的治療の一つとなりました。この治療は4週間に1回点滴で行います。基本的には初回治療は2種類の点滴を入院で行い、その後は外来でDurvalumab単独で点滴で行います。副作用が強い場合は、休薬期間延長などによる調整が必要になることがあります。